

理学部卒業生からのメッセージ

理工学部御卒業の皆様へ

早藤 貴範 (67年物理学科卒)



ご卒業おめでとうございます。我が理工学部は、1961年に設立された物理学科と化学科を持つ理学部を基礎に、2002年に生命科学科と情報科学科を加えて開設されました。皆様は今日、社会に巣立って行かれます。これからも理工学部卒業生の誇りと自信を持って、ご活躍ください。

思い起こせば1965年3月、理学部第一回生の卒業式の日に、理学部の創設者であります仁田勇先生は、手塩にかけて育てた卒業生を前にして、感涙に噎せて卒業生を送り出されたと同っています。理工学部第一回生を送り出し、あらためて恩師仁田勇先生のお心を拝察しております。

理学部第三回生の私は、丁度30年間企業に勤めた後、新しい理工学部の開設に参画し、同窓生として後輩を指導するために母校に戻ることを許されました。皆様は今日から理工学部同窓会の一員になられました。皆様は同窓生として卒業後も母校と研究室を訪れ、先生方や先輩方のご指導を仰ぎ、また後輩の指導を通して、益々自らを高めていただきたいと祈念しております。

【関西学院大学理工学部情報科学科教授、(元)ソニー(株)中央研究所材料解析センター・センター長】

Rosenkranz教授との出会い

山本 好一 (72年化学科卒)



1996年夏、私は、新薬承認申請が迫った化合物の問題を解決すべく、化学構造から毒性を予測する方法を発明したH. Rosenkranz教授に電話をかけた。

「先生、化合物Aのことで相談があり、一度お目にかかりたいのですが。」・・・「明日から1週間ワシントンで会議があり、その後ボストンに行きます。」・・・「それでは、8月12日にボストンでお願いします。」

このような短い会話で面談の日程が決まった。その後、時間との競争の中、順調に展開し、膨大な実験結果の解析が行われ、年末には問題は解決した。

世界的権威と面識もない日本の一サラリーマンが、一本の電話で出会え、共同作業を始める。日本では考えられないことが簡単にできてしまうアメリカの包容力。しかし、そのような国際社会で仕事ができるのも、関学で学び、とくに小嶋吉雄先生の研究室での貴重な訓練の結果だ。また、多くの同窓とのネットワークも貴重な財産となっている。これからも来るべき出会いに備え、研鑽に励みたい。

【武田薬品工業(株) 医薬研究本部・開発研究センター・リサーチマネージャー】

理学部の思い出

水木 純一郎 (73年物理学科卒)



私は1969年に物理学科に入学した者です。皆さんはもうご存じないかもしれませんが、これまでたった1回だけ東大の入試が無かった時があります。それが1969年です。学園紛争が一番激しかった時です。関学もその例に漏れず、7月まで授業が始まりませんでした。しかし、理学部のいいところは、新入生数人に対し1人の先生が担任となり、私の場合、5人(男子3名、女子2名)を毎週大野教授が自宅に呼んでくださり数学の授業をしてくださいました。私は関学中学部からいましたので、女子が2人も目の前にいるので張り切って勉強したことを覚えています。理学部の先生達は求めればどんどん与えてくださる環境、雰囲気がありました。これが未熟者を育ててくれたと感謝しています。その甲斐あって? 今、世界最高性能の大型放射光施設SPring-8で研究生生活を楽しんでおり、人類、社会福祉に少しでも寄与できることができたらと思っています。これからの皆さんの可能性は無限です。大きく羽ばたいてください。

【(独)日本原子力研究開発機構放射光科学研究ユニット・ユニット長、東北大学大学院理学研究科物理学専攻客員教授(連携大学院)】

学生時代に学ぶこと

阿部 佳子 (83年化学科卒)



みなさん、こんにちは。私は小嶋先生のご指導のもとで魚類細胞遺伝学を研究し1985年修士課程修了をいたしました。現在は化学会社(つまり異業種)で皮膚疾患治療剤および高度治療用医療機器の研究開発をしています。専門は皮膚および免疫という分野に変わっておりますが、いまだ研究に携わることができて幸運だと思っております。今になって思いますのは頭のやわらかい学生時代にいかに科学的な考え方とセンスをしっかりと身につけることが大切かということです。専門知識は新しく勉強さえすればよいのですが、基本的科学思考力つまり「現在の課題や問題点を正確に把握して仮説をたてる力」と「質のよいデータや情報を効率的に積み上げていく力」はそんなに簡単に身につくものではありません。どれだけ苦労したか、どれだけいろいろな経験をしたかということの研究の勘と目利き度をあげていき、その結果身につくようですね。そのためには人脈も大切になりますので、ぜひこの同窓会を活用していろいろなみなさんの経験をきいてみてはどうでしょうか?

【積水化学工業(株)メディカル研究所・所長】